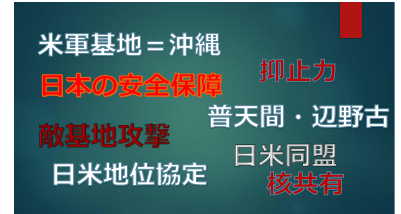


## 21世紀の安保を考える！

前衆議院議員 屋良朝博

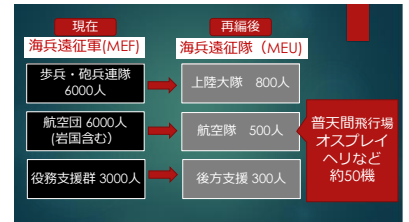
### I. 議論の射程

1. 米軍基地と沖縄 なぜ米軍は沖縄に集中するのか
2. 抑止力とは 在沖米軍最大の海兵隊の役割は
3. 安保課題 安保=軍事？ 国家安保と人間安保



### II. 米軍再編と海兵隊

1. 再編後の軍事力 海兵隊の実戦兵力は 800 人へ
2. 海兵遠征隊 (MEU) の編成 上陸大隊が主力へ

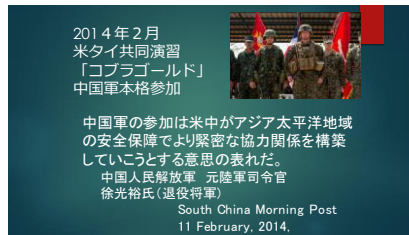


### III. 31MEU の任務・運用

1. 6ヶ月ローテーションで米本国から沖縄へ
2. 半年から8ヶ月の太平洋パトロール (長崎県佐世保の強襲揚陸艦に乗艦)
3. 同盟国、友好国を巡回、共同訓練

### IV. HA/DR=人道支援・災害救援 → 「非伝統的安全保障」「人間の安全保障」

1. 冷戦後の安保課題
2. 中国軍の積極参加
3. 冷戦後の対テロ戦略



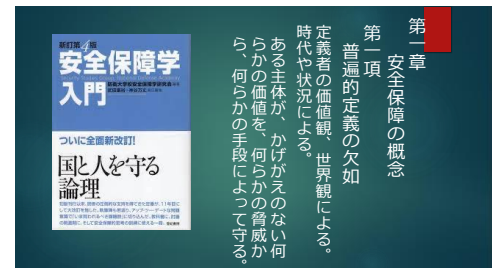
### V. 海兵隊の沖縄配備

1. 朝鮮戦争後の日本配備
2. 戦後、米軍配備比率は 8 対 2
3. 安保闘争の中で沖縄に米軍が沖縄へ移転した。
4. 日米の基地不可視化政策

「安全保障には普遍的定義がない。それを定義する人の価値観、世界観による」

「なんじ名を正さんや」(孔子・正名論)

(裏面)



孔子は弟子に「乱れた国の改革をまかされたらどうなさいますか？」と質問されこう

答えた。

「必ずや名を正さんか」

なぜ政治改革をするのに言葉を正すなんて迂遠なことを真っ先にするのか？

疑問をもった弟子に孔子は語った。

言葉が正しくなければ

言論は順当ではなく、

言論が順当でなければ

政事もうまくいかず

政事がうまくいかなければ

文化も繁栄せず

文化が繁栄しなければ

法令も適切にならず

法令も適切にならなければ

民衆も安心して毎日を送れない。

だからこそ名(言葉)を正さねばならない。

これを正名論という。

国の乱れは言葉の乱れから。

日本に必要なことでは